



SLXD4Q+

ワイヤレスシステム

Shure SLXD4Q+ wireless system guide. Includes how to set up receiver, networking information, specifications, and more.
Version: 1.0 (2025-A)

Table of Contents

SLXD4Q+ ワイヤレスシステム	4	狭帯域送信機を広帯域受信機と併用する方法	24
SLXD4Q+の概要	4	送信機のRF出力を設定する	24
機能	4	RFカスケードポート	24
SLXD4Q+受信機	4	アンテナバイアス	24
SLXD4Q+ハードウェアのコールアウト	5	ネットワークへの接続	24
SLXD4Q+のセットアップ	7	ネットワークコントローラー	25
SLXD4Q+メニュー	8	IPアドレス設定	25
受信機のロックとロック解除	10	Danteスイッチモード	26
SLX-D送信機	10	ネットワークトラブルシューティング	27
送信機	11	ファームウェアをアップデートする方法	27
送信機メニュー	14	送信機のファームウェアアップデート	27
送信機のロックとロック解除	15	ファームウェアバージョン要件	28
電池と充電器	15	受信機のラックマウント	28
マイクロホンの電池の装着	15	フットパッドの取り付け	28
単3乾電池の種類の決定	17	オプションの付属品	28
Shure SB903充電電池	17	仕様	33
充電式バッテリーの管理と保管に関する重要なヒント	20	受信機音声出力コネクタ	42
平均充電/稼働時間	20	送信機音声入力コネクタ	42
SLX-D送信機と受信機をリンクする方法	20	Frequency Range and Transmitter Output Power	43
オーディオチャンネルの構築	20	欧州諸国における周波数	43
グループおよびチャンネルとは	21	ワイヤレス製品の安全および規制情報	44
グループとチャンネルスキャン	21	シンボルの説明	44
周波数のマニュアル選択	21	安全のための重要な注意事項	44
ガイド付き周波数セットアップ	22	充電器に関する製品安全情報および規制情報	45
2つの送信機を受信機にリンクする	22	電池に関する製品安全情報	45
ゲイン調整	23	電池の保管	46
オーディオサミング	23	重要な製品規制情報	46
RF出力設定	24	クラスB EMC製品の規制について	46

ワイヤレス製品の規制情報	48	認証	51
環境に関する規制情報	51	規制モデル番号 (RMN)	52
電池に関する規制情報	51	FCC / IC ID	52
		省エネ	52

SLXD4Q+

ワイヤレスシステム

SLXD4Q+の概要

SLXD4Q+ワイヤレスシステムは、クリアな音声と安定したRF性能を提供し、簡単なセットアップと充電オプションを備えています。このワイヤレスシステムは、終日の会議から夜間のパフォーマンスまで、幅広い用途に対応するよう設計されています。クアド受信機は、標準バージョンとDanteバージョンの両方で利用できます。広帯域受信機は地域のブロードキャスト規制に準拠しており、既存の地域のSLX-D送信機同調範囲と互換性があります。

ワイヤレス受信機にプログラムされたガイド付きセットアップ機能により、自動RFスキャンおよび赤外線 (IR) 同期を簡単に行うことができます。イーサネットを介したサードパーティ制御とセットアップ、また複数システムのグループスキャンやファームウェアのアップデート管理ができます。オーディオサミング機能を使用して音声レベルを設定および結合します。RFカスケードポートを備えた8チャンネル受信機システムを作成します。受信機は138 MHzの広帯域範囲で動作しますが、狭帯域送信機と併用する場合は44 MHzで動作します。送信機は2本の単三電池を使用して最大8時間動作します。また、Shure SB903充電式電池と充電器アクセサリを追加することもできます。SLXD4Q+は、ハンドヘルド、ラベリア、およびヘッドセットマイクロホンに対応し、> 118 dBのダイナミックレンジと安定した効率的なRFパフォーマンスを提供します。

機能

- 透明な24-bitデジタルオーディオ
- 20 Hz~20 kHzワイドレンジな周波数特性 (マイクロホンタイプにより異なる)
- 118 dBのダイナミックレンジ
- 138 MHzの広帯域範囲
- 44 MHz狭帯域あたり32のチャンネルが利用可能です (地域によって異なります)
- Shure Wireless Workbench®コントロールソフトウェアに対応
- イーサネットを介したサードパーティ制御とセットアップ
- Dante接続 (受信機のモデルによって異なります)
- RFカスケードとバイアス電圧
- すべての出力でオーディオサミングが利用可能です

システムの構成

SLX-Dシステムは、ユーザー固有のニーズを満たすために、送信機、受信機、マイクロホンの複数の構成で利用可能です。利用可能なシステム構成の一覧を確認するには、[shure.com](https://www.shure.com)にアクセスするか、各地の営業担当者にお問い合わせください。

SLXD4Q+受信機

①

ラックマウント金具

②

1/4波長アンテナ (2本)

③

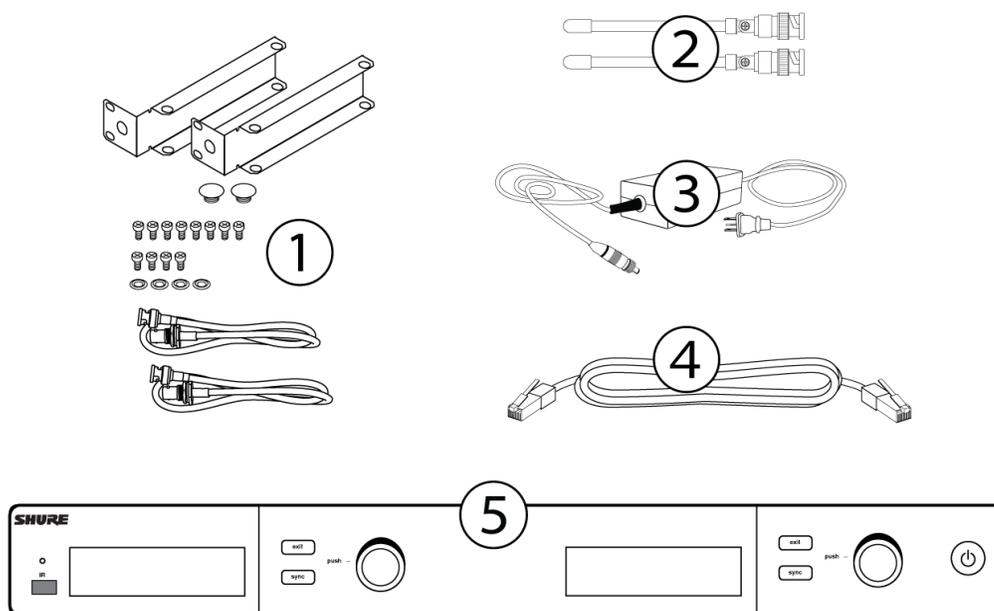
PS60 ACアダプター

④

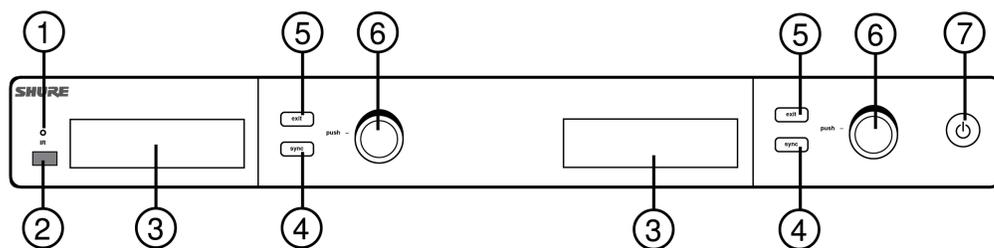
イーサネットケーブル

⑤

SLXD4Q+受信機



SLXD4Q+ハードウェアのコールアウト



① 赤外線同期LED

- 点滅 = 赤外線 (IR) 同期モードが有効になっています
- 点灯 = 赤外線 (IR) 同期のため受信機と送信機の位置が合わせられています

② IRポート

IR同期中に送信機のIRポートに向き合わせて、送信機と設定を同期します。

③ ディスプレイ

メニューオプション、受信機の設定と送信機の設定を表示します。

④ 同期ボタン

押すと赤外線 (IR) 同期を実行します。

⑤ 終了ボタン

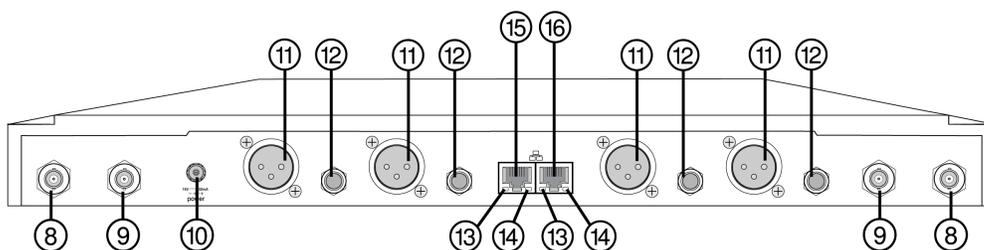
押すと現在の操作をキャンセルします。

⑥ コントロールノブ

メニューパラメーターを変更します。変更を確定するには、ノブを押します。

⑦ 電源ボタン

受信機の電源をオンまたはオフにします。



⑧ アンテナコネクタ

受信機アンテナ接続用のBNCコネクタです。

⑨ RFカスケードポート

アンテナAとアンテナBからのRF信号を次の受信機へ送ります。

⑩ ACアダプターポート

DC電源プラグを挿し込みます。

⑪ XLR音声出力

バランス (1: グランド 2: オーディオ + 3: オーディオ -)

⑫ 1/4インチ楽器/補助出力

インピーダンスバランス (チップ: オーディオ+, リング: オーディオ-, スリーブ: アース)

⑬ ネットワーク速度LED (黄色)

各ネットワークポートに1つ。

- 消灯 = 10/100 Mbps
- 点灯 = 1 Gbps

⑭ ネットワークステータスLED (緑色)

各ネットワークポートに1つ。

- オフ = ネットワークリンクがありません
- 点灯 = ネットワークリンク有効
- 点滅 = データ量に応じて速さが変化します

⑮ イーサネット/Danteネットワークセカンダリーポート

イーサネットネットワークに接続して、Wireless Workbenchソフトウェアからデバイスのリモートコントロールを可能にします。Dante受信機は、音声の配信、モニタリング、録音のためにDanteデジタルオーディオおよびコントロール信号を伝送します。

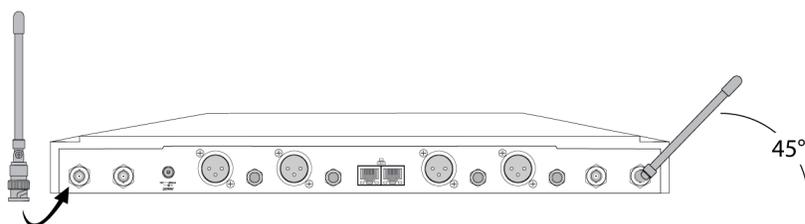
⑯ イーサネット/Danteネットワークプライマリーポート

イーサネットネットワークに接続して、Wireless Workbenchソフトウェアからデバイスのリモートコントロールを可能にします。Dante受信機は、音声の配信、モニタリング、録音のためにDanteデジタルオーディオおよびコントロール信号を伝送します。

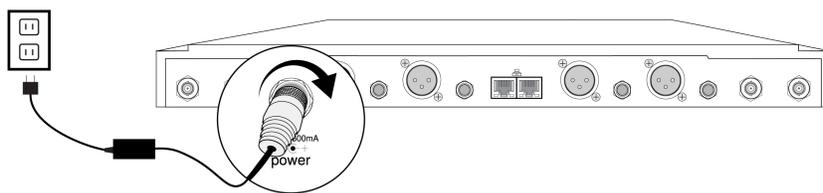
SLXD4Q+のセットアップ

1. 付属のアンテナを受信機の背面に取り付けます。*

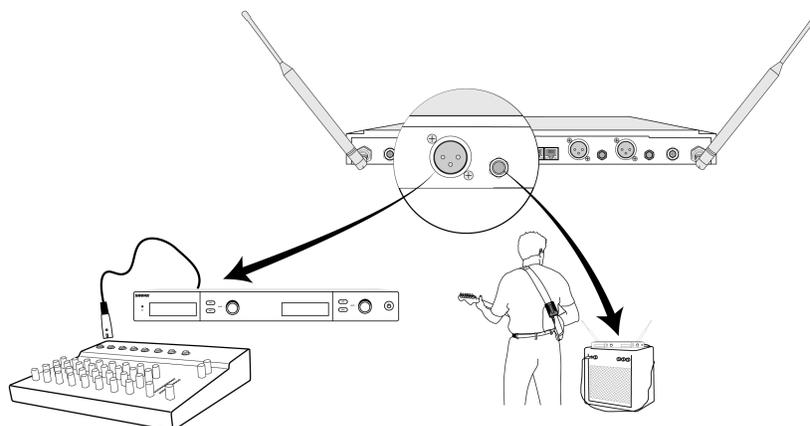
注：追加のSLX-D受信機を使用する場合は、RF出力を使用して信号をカスケードします。



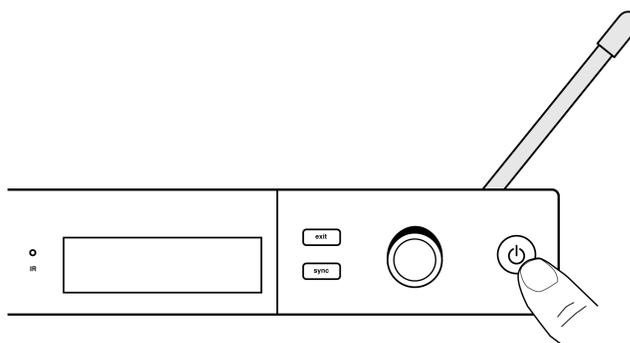
2. 電源アダプターを受信機に接続し、AC電源コードをACコンセントに挿します。



3. 音声出力をアンプまたはミキサーに接続します。



4. 受信機の電源ボタンを押します。受信機メニューから、マイク出力 (mic) またはライン出力 (line) を接続する機器に応じて適切に設定します。



*外付けアクティブアンテナを使用するには、[デバイス構成] > [RF] > [アンテナバイアス] > [オン] に移動します。

SLXD4Q+ メニュー

メニューにアクセスするにはコントロールノブを押し、次のメニュー画面に進むには回転させます。

Frequency Setup	ガイド付きセットアップ	新しいシステムを初期化する、または既存のシステムに受信機を追加するための手順を指示します。
	Group Scan	受信機は自動スキャンを実行して利用可能な最良のグループを検索します 注：各地域に対応する一部の周波数帯域は単一グループのみで構成されています。対応するグループが単一グループのみの場合でも複数グループ対応の場合でも、RFパフォーマンスは同じです。

	<table border="1"> <tr> <td>Channel Scan</td> <td>受信機が、選択されたグループ内の使用可能なチャンネルを自動的にスキャンします。</td> </tr> <tr> <td>手動周波数セットアップ</td> <td>受信機を任意の周波数に手動で設定します。</td> </tr> </table>	Channel Scan	受信機が、選択されたグループ内の使用可能なチャンネルを自動的にスキャンします。	手動周波数セットアップ	受信機を任意の周波数に手動で設定します。		
Channel Scan	受信機が、選択されたグループ内の使用可能なチャンネルを自動的にスキャンします。						
手動周波数セットアップ	受信機を任意の周波数に手動で設定します。						
チャンネル名	チャンネル名をカスタマイズします。						
音声設定	<table border="1"> <tr> <td>ゲイン</td> <td>受信機のゲインを調整して適切な出力レベルを設定します。</td> </tr> <tr> <td>Mic/Line Level</td> <td>出力レベルをMic/Lineレベルに切り替えます。</td> </tr> </table>	ゲイン	受信機のゲインを調整して適切な出力レベルを設定します。	Mic/Line Level	出力レベルをMic/Lineレベルに切り替えます。		
ゲイン	受信機のゲインを調整して適切な出力レベルを設定します。						
Mic/Line Level	出力レベルをMic/Lineレベルに切り替えます。						
Advanced	<table border="1"> <tr> <td>送信機プリセット</td> <td>送信機プリセットを適用して同期します。</td> </tr> <tr> <td>Tx出荷時設定にリセット</td> <td>システムの再起動後に送信機の設定を工場出荷時のデフォルトに復元します</td> </tr> </table>	送信機プリセット	送信機プリセットを適用して同期します。	Tx出荷時設定にリセット	システムの再起動後に送信機の設定を工場出荷時のデフォルトに復元します		
送信機プリセット	送信機プリセットを適用して同期します。						
Tx出荷時設定にリセット	システムの再起動後に送信機の設定を工場出荷時のデフォルトに復元します						
デバイス構成	<table border="1"> <tr> <td>Audio</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> [オーディオサミング] : オーディオサミングモードを選択する </td> </tr> <tr> <td>RF</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> [アンテナバイアス] : アンテナバイアスをオンまたはオフにする [RFバンド] : 送信機のバンドに合わせて受信機のバンドを変更する </td> </tr> <tr> <td>Dante*</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> [Danteデバイス名] : ネットワーク化されたDanteコンポーネントの名前を表示および編集する [Danteデバイスロック] : Danteデバイスロックのステータスを表示します [Dante Domain Manager] : Dante Domain Managerの設定のステータスを表示します <p>*Dante受信機のみ</p> </td> </tr> </table>	Audio	<ul style="list-style-type: none"> [オーディオサミング] : オーディオサミングモードを選択する 	RF	<ul style="list-style-type: none"> [アンテナバイアス] : アンテナバイアスをオンまたはオフにする [RFバンド] : 送信機のバンドに合わせて受信機のバンドを変更する 	Dante*	<ul style="list-style-type: none"> [Danteデバイス名] : ネットワーク化されたDanteコンポーネントの名前を表示および編集する [Danteデバイスロック] : Danteデバイスロックのステータスを表示します [Dante Domain Manager] : Dante Domain Managerの設定のステータスを表示します <p>*Dante受信機のみ</p>
Audio	<ul style="list-style-type: none"> [オーディオサミング] : オーディオサミングモードを選択する 						
RF	<ul style="list-style-type: none"> [アンテナバイアス] : アンテナバイアスをオンまたはオフにする [RFバンド] : 送信機のバンドに合わせて受信機のバンドを変更する 						
Dante*	<ul style="list-style-type: none"> [Danteデバイス名] : ネットワーク化されたDanteコンポーネントの名前を表示および編集する [Danteデバイスロック] : Danteデバイスロックのステータスを表示します [Dante Domain Manager] : Dante Domain Managerの設定のステータスを表示します <p>*Dante受信機のみ</p>						

	<p>デバイス設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デバイスロック] : 受信機設定をロックまたはアンロックします • [ホームページ表示] : ディスプレイに表示される情報を変更します • [デバイスプリセット] : 現在の受信機設定を保存するか、最後に保存した設定を復元します。 • [コントローラーアクセス] : サードパーティ製コントロールのアクセスをブロックまたは許可します。
	<p>接続関連</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ネットワーク設定] : IP、ネットワーク、Dante設定を構成します
	<p>詳細設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • [送信機ファームウェア] : 赤外線 (IR) 同期を使用して送信機のファームウェアをアップデートします。 • [出荷時設定にリセット] : システムを再起動して、すべての設定を工場出荷時設定に復元します
	<p>バージョン情報</p> <p>ファームウェアのバージョン情報とシリアル番号を表示します。</p>
ヘルプ	追加のヘルプ資料へのリンクを提供します

受信機のロックとロック解除

以下のコントロールロックオプションは、[デバイス構成] > [デバイス設定] > [デバイスロック] からアクセスできます：

- Unlock : 受信機のロックを解除します
- Lock Menu : メニュー項目にアクセスできなくなります (受信機の電源は切ることができます)
- Lock Menu & Power : 電源スイッチとメニューコントロールを無効にします

希望するオプションを選択し、コントロールノブを押して確定します。

SLX-D送信機

①

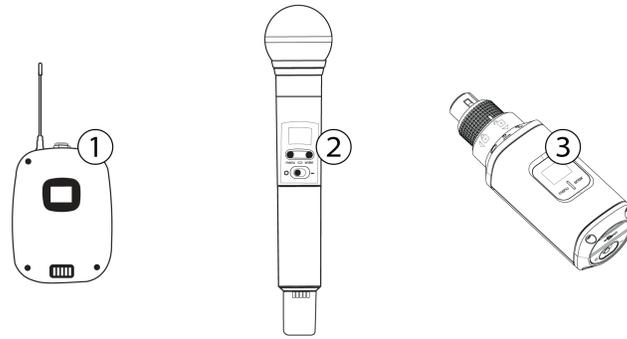
SLXD1ボディパック (BP) 型送信機

②

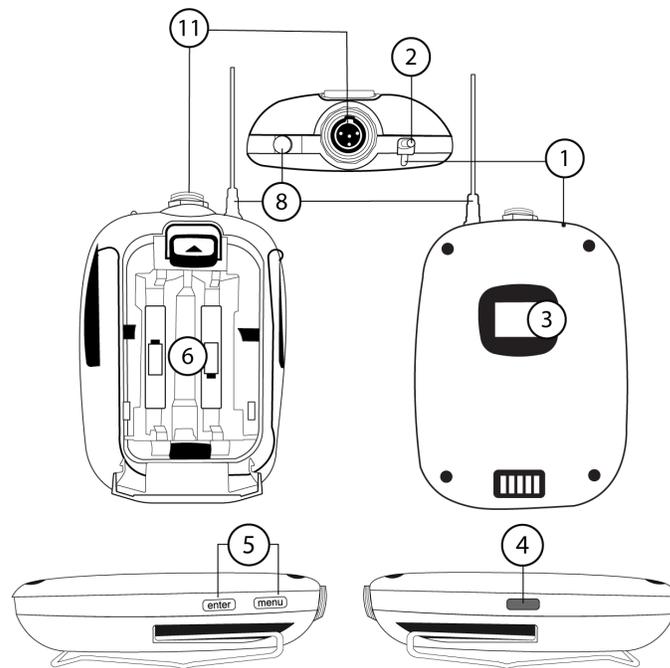
SLXD2ハンドヘルド (HH) 型送信機

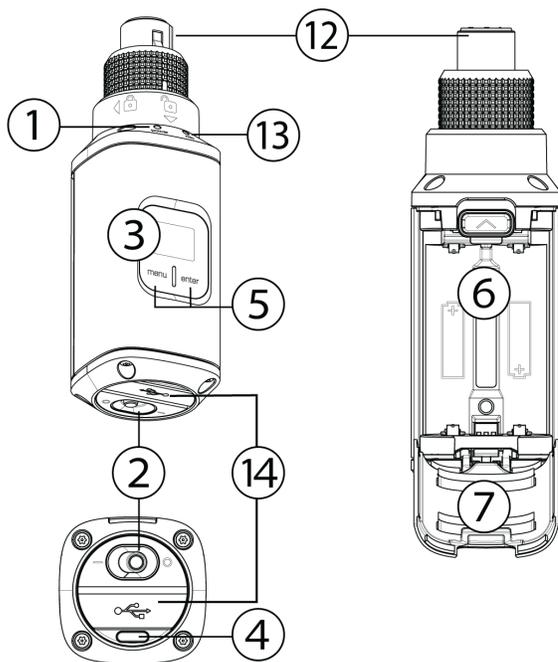
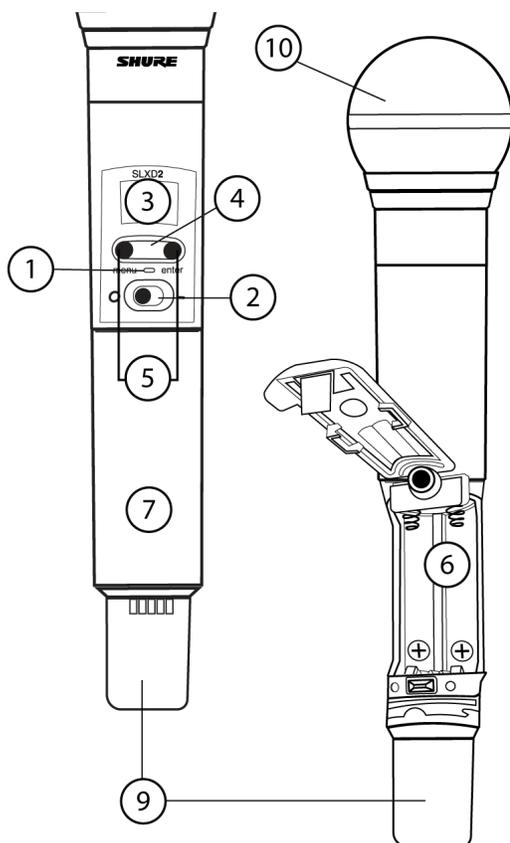
③

SLXD3プラグオン (PO) 送信機



送信機





① 電源LED

- 緑色 = ユニットの電源がオン

- 赤 = 電池残量低下

② オン/オフスイッチ

送信機の電源をオン/オフします。

③ ディスプレイ

メニュー画面と設定を表示します。コントロールボタンのどちらかを押すとディスプレイが起動します。

④ IRポート

受信機のIRポートに向かい合わせて赤外線 (IR) 同期を行い、受信機と設定を同期します。

⑤ メニューナビゲーションボタン

[menu] = メニュー画面間を移動します。

[enter] = パラメーターの変更を確定し保存します。

⑥ 電池コンパートメント

単3形乾電池2本またはShure SB903充電電池を装填します。

⑦ 電池カバー

使用中に電池コンパートメントを保護します。

⑧ ボディパックアンテナ

RF信号を送信します。

⑨ ハンドヘルド型一体型アンテナ

RF信号を送信します。

⑩ マイクロホンカートリッジ

各種Shureマイクロホンカートリッジと互換性があります。

⑪ TA4M入力ポート

4ピンミニコネクタ (TA4F) 付きマイクロホン、または楽器用ケーブルを接続します。

⑫ XLRコネクターのロック

有線マイクロホン、ケーブル、ブームポールなどの接続ポイント。XLRコネクタを外すには、リングを反時計回りに回し、押します。

⑬ マイクロホンLED

受信機の状態に関係なく、接続されたマイクロホンからの音声入力を示します。

⑭ USB-Cポート

USB-Cケーブルを接続し、電源を入れるか送信機を充電します。

送信機メニュー

送信機には送信機の設定と調節用にメニュー画面が備わっています。ホーム画面からメニューオプションにアクセスするにはmenuボタンを押します。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が表示されます。メニュー画面から各設定を選択して変更を確定するには、[enter] ボタンを使用します。

ホーム画面	<p>enterボタンを使用して以下のホーム画面ディスプレイ表示から1つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チャンネル名/グループおよびチャンネル/電池アイコン • チャンネル名/周波数/電池アイコン • チャンネル名/電池アイコン/グループおよびチャンネル • チャンネル名/電池アイコン
Mic Offset	<p>受信機の同一チャンネルで2つの送信機を使用する際に、2つの送信機間のオーディオレベルを合わせるために調整します。範囲は0~21dBです (3 dB刻み)</p>
RF Power	<p>RF出力レベルを目的に応じて選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 mW • 10 • 30 mW* <p>* SLXD3のみ</p>
ハイパス	<p>ハイパスフィルターをオンまたはオフにします</p>
Battery	<p>電池残量を正確に表示するため、使用している単3形乾電池と同じになるよう電池の種類を設定します</p> <p>注：Shure充電電池を使用している場合はメニューを選択できません</p>
自動ロック	<p>送信機の自動ロックをオンまたはオフにします。</p>
ロックタイプ	<p>自動ロックの動作を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Menu Only：メニューをロックして、送信機の設定が変更されないようにします。 • Menu & Power：メニューと電源をロックして、電源スイッチを無効にします。
[ファンタム電源] *	<p>ファンタム電源設定を選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ (デフォルト設定) • +12 V • +48 V <p>* SLXD3のみ</p>

[パッド/ブースト] *	<p>入力パッドまたはブーストを選択し、音声入力のオーバーロードを回避したり低出力オーディオソースを増加させたりします：</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ（デフォルト設定） • パッド：-12 dB • ブースト：+12 dB <p>* SLXD3のみ</p>
バージョン情報	ファームウェア、ハードウェア、および帯域情報を表示します。

送信機のロックとロック解除

自動ロックを有効にするには：

1. [menu] ボタンを押して、[Auto Lock] 設定にナビゲートします。
2. [enter] ボタンを使用して編集し、[menu] ボタンを使用して [On] を選択します。
3. enterを押して保存します。ロックアイコンが表示され、コントロールのロックが有効であることを確認します。

送信機のロックを解除して自動ロックを無効にするには：

1. [enter] を押してから [menu] を押し、送信機のコントロールのロックを解除します。
2. [Auto Lock] 設定にナビゲートし、[Off] を選択します。
3. enterを押して保存します。ホーム画面に戻ると、送信機のロックは無効になります。

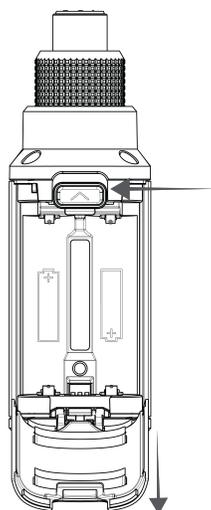
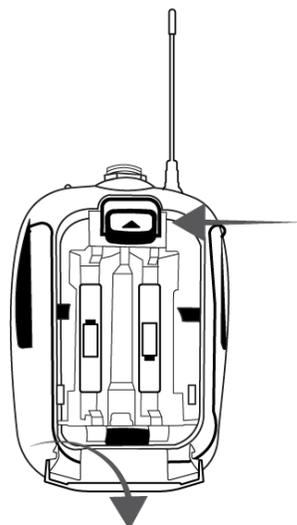
電池と充電器

マイクロホンの電池の装着

重要：送信機の破損を避けるために、Shure SB903リチウムイオン充電電池または1.5 Vの単三形乾電池のみを使用してください。

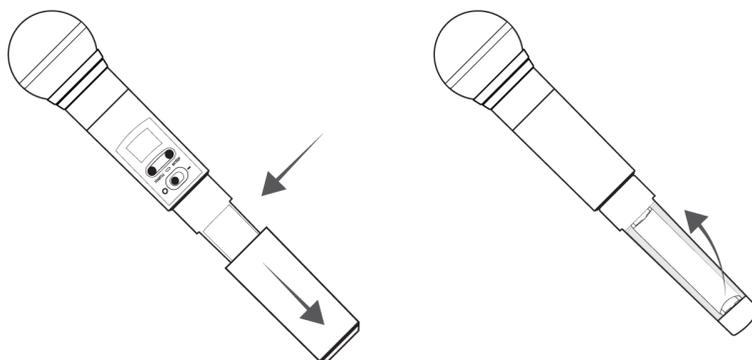
ボディパック型/プラグオン：

1. タブを押し上げて、電池ボックスのドアを開けます。
2. Shure SB903リチウムイオン充電電池 または 単三形乾電池2本をコンパートメント内に装着します。
3. バッテリードアを閉じます。



ハンドヘルド型送信機：

1. 電池カバーを回して外します。
2. バッテリードアを持ち上げて、電池ボックスを開けます。
3. Shure SB903リチウムイオン充電電池または単三形乾電池2本をコンパートメント内に装着します。
4. 電池カバーを元通りに取り付けます。



単3乾電池の種類の決定

送信機の残り使用時間を正確に表示するため、装着されている単3形乾電池の種類と同じになるよう送信機メニューで電池の種類を設定します。Shure充電電池を使用する場合、電池タイプの設定は必要ないため電池タイプメニューは表示されません。

1. [menu] ボタンを押して、[Battery] 画面にナビゲートします。
2. [enter] を押してから [menu] ボタンを押して、装填した電池タイプを選択します：
 - [アルカリ] (デフォルト設定)
 - NiMH (ニッケル水素電池)
 - リチウム (非充電式、最大1.5 V)
3. enterを押して設定を保存します。

Shure SB903充電電池

SB903リチウムイオン充電電池はSLX-D送信機専用の充電電池になります。SB903リチウムイオン充電電池の充電には、SBC10-903シングルベイまたはSBC203デュアルベイ充電器を使用します。

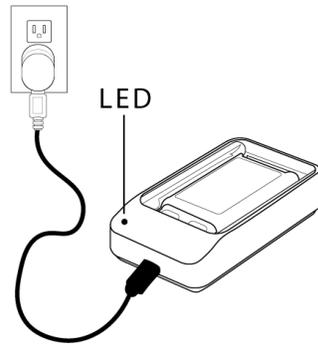
重要：新しい電池を初めて使用する際は必ずフル充電を行ってください。

新しいSB903電池をフル充電するには、充電器に直接配置する必要があります。最初に一度充電したら、SBC203デュアルベイ充電ステーションに充電電池を装填した送信機をドッキングして充電することもできます。

シングルベイ充電器

SBC10-903シングルベイ充電器はコンパクトな充電ソリューションを提供します。

1. 充電器をAC電源またはUSBポートに繋がします。
2. 充電ベイに電池を挿入します。
3. 充電が完了するまで、充電ステータスLEDsを監視します。

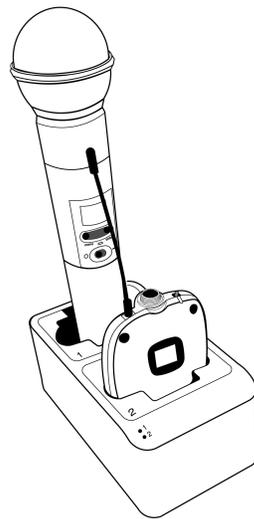


充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー
充電されていない	オフ	充電器の電源が切断されているか、充電ベイにドッキングされていない

デュアルベイ充電器

SBC203デュアルベイ充電器は充電電池単体、または送信機に装填された状態の充電電池を充電可能です。



1. 充電器をAC電源に接続します。
2. 充電ベイに充電電池、または充電電池を装填した送信機を挿入します。

重要：破損を避けるために、送信機は前を向くように差し込んでください。

3. 充電が完了するまで、充電ステータスLEDsを監視します。

充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー*
	黄色（ゆっくり点滅）	動作温度範囲外
充電されていない	オフ	充電器の電源が切断されているか、デバイスが充電ベイにドッキングされていない

* 送信機が充電ベイにドッキングされているときにエラーが発生した場合、送信機から電池を取り外して充電器に直接差し込んでください。エラーが解決されない場合は、Shureテクニカルサポートにお問い合わせください。

SBC80-903充電器

SBC80-903クレードル充電器は、SB903電池8本を収容し、ラックマウント用引き出しに収まるサイズになっています。この充電器は十分なスペースと換気のある場所で使用してください。

電源

1. DC電源ケーブルを充電器背面の入力ジャックに接続します。
2. 指でロックナットを締めて固定します。
3. 電源ケーブルをACアダプターに接続します。

警告：

- ロックナットを締めるのにプライヤー等の工具は使わないでください。DC電源ケーブルは充電器ユニットを据え付ける前に取り付けてください。
- DCケーブルを充電器につなぐ前に、ACアダプターを電源に接続しないでください。
- 充電器の準備が完了した後で、電源ケーブルを正しくアース接続されたコンセントに接続して下さい。

SBC80-903には電源スイッチがありません。電源に差し込むと、充電器が使用できる状態になります。電池を挿入するとLEDが点灯します。

充電ステータスLED

充電するには、電池の溝がある側を下にして充電ベイに挿入します。LEDが点灯して電池ステータスを示します。

充電ステータスLED

充電電池の状態	色	ステータス
使用可能	緑（点灯）	充電完了
充電中	赤（点滅）	充電中
エラー	黄色（速い点滅）	充電電池または電源のエラー
	黄色（ゆっくり点滅）	動作温度範囲外
充電されていない	Off	充電器の電源が切断されているか、電池が充電ベイに挿入されていない

充電式バッテリーの管理と保管に関する重要なヒント

Shure充電電池を適切に管理し保管することで高い信頼性と長い寿命を保持することができます。

- 充電電池と送信機は常に常温で保管してください。
- 充電電池を長期的に保管する場合は、最大容量の約40%に充電または放電してから保管してください。
- 長期保管中は、6ヶ月毎に充電電池の状態を確認して必要に応じて最大容量の40%に再充電してください。

平均充電/稼働時間

SBC10-903

充電時間	稼働時間	容量
1時間	1時間	15%
3時間	4時間	50%
5時間30分	>8 時間	100%

SBC203

充電時間	稼働時間	容量
30分	1時間	15%
1時間15分	4時間	50%
2時間30分	>8 時間	100%

SBC80-903

充電時間	稼働時間	容量
30分	1時間	15%
1時間15分	4時間	50%
2時間30分	>8 時間	100%

*上記データはバッテリーヘルス値が100%の場合に基づくおおよその時間です

SLX-D送信機と受信機をリンクする方法

オーディオチャンネルの構築

ワイヤレスオーディオチャンネルは、受信機と送信機を同じ周波数に設定することで形成されます。受信機と送信機を同じ周波数に合わせるには、次の3つの方法があります。

- **グループとチャンネルスキャン**：受信機は利用可能な最良の周波数を見つけるためにRFスペクトラムスキャンを実行し、赤外線 (IR) 同期を行うことで、安全な周波数が送信機と同期されます。

- **マニュアル設定によるグループ、チャンネル、または周波数の選択**：受信機と送信機を同じグループチャンネル、チャンネル番号、または周波数に手動で設定します。
- **ガイド付き周波数セットアップ**：プロセスを順を追って行うステップバイステップガイドです

重要！スキャンまたは周波数の割り当てを開始する前に：

- イーサネットケーブルを使用して、システム内のすべての受信機を接続します。最良の結果を得るために、3台以上の受信機を接続する場合は、ネットワークスイッチを介して各受信機を接続してください。
- 周波数スキャンへの干渉を防止するために、セットアップしているシステム用の送信機をすべてオフにしてください。
- 他のワイヤレスシステム、コンピューター、CDプレーヤー、大型LEDパネル、エフェクトプロセッサなど、干渉を引き起こす可能性のある他のデバイスの電源をオンにしてください。これにより、デバイスによって生じる干渉をスキャンで検出して回避できます。

グループおよびチャンネルとは

Shureワイヤレスシステムでは、電波干渉を最小限に抑えるために事前に設定された**グループ**と**チャンネル**を本体にプリセットしています。グループとは、対応している周波数帯域内で互換性を持つ周波数の組み合わせをグループ化したものです。チャンネルとは、そのグループ内の1つの周波数を意味します。受信機と送信機を同じグループ内の使用可能な最良のチャンネルに設定してシステムをセットアップしてください。

注：同じ帯域内で複数の受信機を使用する場合は、同じグループに設定する必要があります。グループは対応している周波数帯域モデルによって異なるため、国と地域により複数のグループを持たないシステムもありますが、各グループの周波数の組み合わせは、それぞれ同じRFパフォーマンスを提供します。

グループとチャンネルスキャン

グループスキャンは、各グループの利用可能なチャンネル数を識別し、選択したグループ内の利用可能なチャンネルを自動的に割り当てます。新しいチャンネルを探したい場合、またはマニュアルで周波数を選択する方法を利用している場合は、チャンネルスキャンを実行します（「**周波数のマニュアル選択**」を参照）。

重要：システムで使用する送信機の電源をすべてオフにします。

グループスキャンを実行するには：

1. [周波数設定] > [グループスキャン] に移動します。
2. コントロールノブを押して [スキャンを開始] を選択します。
3. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して [アサイン] を選択します。
4. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
5. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、 [同期] ボタンを押します。

チャンネルスキャンを実行するには：

1. [周波数設定] > [チャンネルスキャン] に移動します。
2. コントロールノブを押して [スキャンを開始] を選択します。
3. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して [適用] を選択します。
4. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
5. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、 [同期] ボタンを押します。

周波数のマニュアル選択

手動でグループ、チャンネル、周波数を調整するには：

1. [周波数設定] > [手動周波数設定] に移動し、グループ ([G])、チャンネル ([C])、または周波数 ([MHz]) を必要に応じて選択して調整します。
2. [適用する] を選択して設定を保存します。
3. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、 [同期] ボタンを押します。

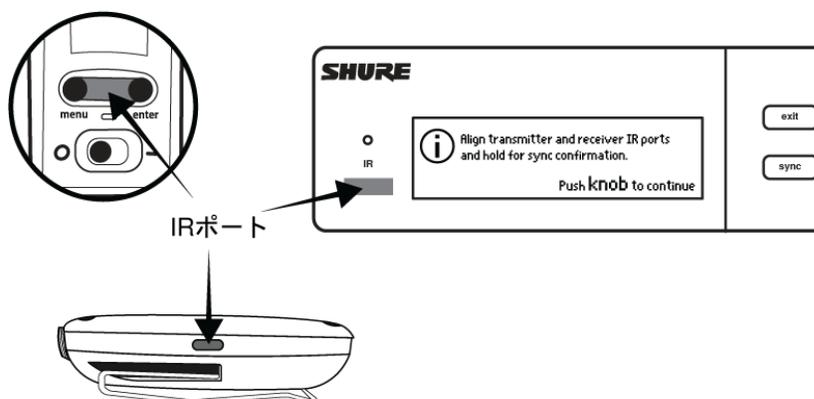
ガイド付き周波数セットアップ

ガイド付き周波数セットアップを使用して、順を追ってグループおよびチャンネルのスキャンプロセスを実行します。

重要! プロンプトが表示されたら、広帯域受信機の周波数を狭帯域送信機の周波数に合わせて変更します。

新しいシステムを設定するには：

1. [周波数セットアップ] > [ガイド付きセットアップ] > [システムの初期化] に移動し、コントロールノブを押して続行します。
2. システムで使用する予定の送信機をすべてオフにし、コントロールノブを押して [スキャンを開始] を選択します。
3. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して [アサイン] を選択します。
4. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
5. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、[同期] ボタンを押します。



システムに新しい受信機を追加するには：

1. [周波数セットアップ] > [ガイド付きセットアップ] > [システムに受信機を追加] に移動し、コントロールノブを押して続行します。
2. システム内のすべての受信機で同じグループ番号を使用します。グループを変更するには、コントロールノブを回してグループ番号を選択し、ノブを押してから回して番号を変更し、もう一度押して確定します。
3. コントロールノブを押して [スキャンを開始] を選択します。
4. スキャンが完了したら、コントロールノブを押して [適用] を選択します。
5. この受信機で使用する送信機の電源を入れます。
6. 送信機と受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、[同期] ボタンを押します。

2つの送信機を受信機にリンクする

2台の送信機を同じ受信機チャンネルにリンクすることでパフォーマーは好みに応じてハンドヘルド、またはボディバック型送信機を選択して使用することができます。2つの楽器を変更しながらの運用が必要となるパフォーマンスについても、2台のボディバック型送信機を同じ受信機チャンネルにリンクさせることができます。周波数の割り当てや出力先に制限がある場合などに有効です。

注： 送信機同士の干渉を避けるため、常に1台の送信機のみをオンにして運用してください。

送信機を受信機にリンクするには：

1. 1台目の送信機をオンにして受信機と赤外線 (IR) 同期を実行してください。
2. サウンドチェックを実行し、必要に応じて送信機のゲインを調節してください。終了したら、送信機をオフにしてください。

- 2台目の送信機をオンにして受信機と赤外線 (IR) 同期を実行してください。
- 実際の運用想定でサウンドチェックを行い、必要に応じて送信機のマイクオフセット機能を使用し調節してください。終了したら、送信機をオフにしてください。

オーディオレベルをマイクオフセットに合わせる

2台の送信機を1台の受信機チャンネルにリンクする際は、マイクロホンまたは楽器間の音量レベルに差がある可能性があります。そのような音量差がある場合、送信機側のMic Offset機能を使用してオーディオレベルを合わせ、2つの送信機による音量差を解消します。1台の送信機のみを使用する場合は、マイクオフセットを0 dBに設定します。

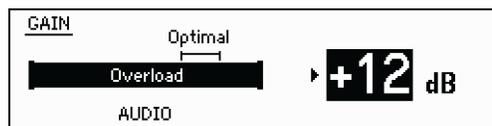
- 1台目の送信機をオンにしてサウンドチェックを行いオーディオレベルを確認します。完了したら、送信機をオフにしてください。
- 2台目の送信機をオンにして、オーディオレベルを確認するためサウンドチェックを実行してください。
- 送信機間でサウンドレベルに聞き取れる違いがある場合は、送信機側の [マイクオフセット] メニューに移動し、マイクオフセットを増減させて音声レベルを一致させます。



ゲイン調整

[オーディオ設定] > [ゲイン] に移動してパフォーマンスレベルで受信機をテストします。ゲインを調整して、オーディオインジケータを [Optimal] の範囲内に収まるよう維持します。音声出力をチェックして歪み等が発生する場合はゲインを下げてください。

注：機器の推奨ゲイン設定は-18 dBです。

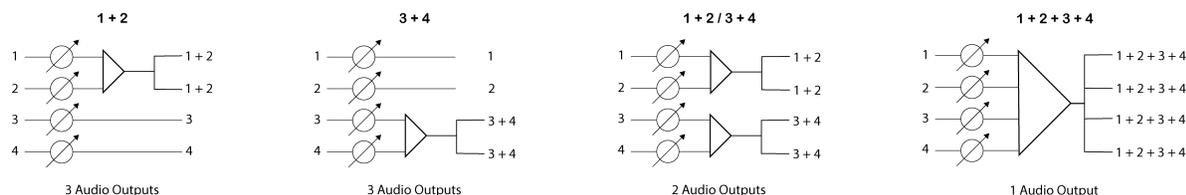


オーディオサミング

オーディオサミングは、入力信号を結合し、単一の出力チャンネル経由で送信します。これにより、Dante受信機チャンネルまたはアナログ入力の数に限られている機器に、すべてのチャンネルを送ることが可能になります。サミングされた音声はすべての出力で利用可能です。

チャンネルを結合するには、[デバイス構成] > [音声] > [オーディオサミング] でオーディオサミングオプションの1つを選択します。

以下のオーディオサミングモード オプションが利用可能です：



RF出力設定

狭帯域送信機を広帯域受信機と併用する方法

狭帯域SLX-D送信機と併用するために、広帯域SLXD4Q+受信機を設定する方法は2つあります。

- システムを設定する前に、[デバイス構成] > [RF] > [RFバンド] に移動して、送信機に一致する帯域を選択します。
- IR同期中に受信機は帯域の不一致を検出し、[RFバンド] メニューを自動的に開きます。コントロールノブを押して、提案された変更を適用します。

送信機のRF出力を設定する

送信機は、送信機範囲を決定する複数のRF電源設定を有します。

- 1 mW (低)
- 10 mW (高)
- 30 mW (SLXD3のみ)

送信機と受信機が近接している際は低設定を使用します。

- 送信機の [RF power] メニューを選択します。
- [menu] ボタンを使用して、RF電力設定を選択します。
- enterを押して設定を保存します。

RFカスケードポート

受信機はリアパネルに2つのRFカスケードポートを備え、アンテナからの信号を追加の受信機と共有することができます。

シールド処理された同軸ケーブルを使って、1台目の受信機のRFカスケードポートを2台目の受信機のアンテナ入力に接続します。

重要! 周波数バンドは両受信機が同じでなければなりません。

アンテナバイアス

アンテナポートAとBは、DCバイアスを作動中のアンテナに提供します。パッシブ（電源不要）アンテナを使う場合はDC電源をオフにします。

アンテナバイアスをオンまたはオフにするには、[デバイス構成] > [RF] > [アンテナバイアス] に移動します。

ネットワークへの接続

1. イーサネットケーブルを使用して適切なネットワークポートをイーサネットスイッチに接続します（ネットワーク接続オプションについてはDanteスイッチモードを参照してください）。
2. 受信機のネットワークポートLEDが点灯し、ネットワーク接続状況とネットワークトラフィックを表示します。

ネットワークコントローラー

Wireless Workbenchを使用して、標準およびDante受信機をリモートで管理およびモニタリングできます。Dante受信機を使用すると、Danteコントローラーを使用してデジタル音声ルーティングをリモートでモニタリングできます。AMXとCrestronコントローラーの信号は、Shure Controlと同じネットワーク上で伝達されます。

Shure コントロール

Wireless Workbench (WWB) ソフトウェアはワイヤレスオーディオシステムの包括的コントロールを提供します。Wireless Workbenchは、ネットワーク上の受信機にライブリモート調整を可能とし、リアルタイムでゲイン、周波数、RF出力、コントロールロックを変更することができます。チャンネルストリップインターフェースは、音声メーター、送信機パラメーター、周波数設定、ネットワークステータスを表示します。

Wireless WorkbenchはWindowsまたはMacで利用でき、以下よりダウンロードできます：<https://www.shure.com/en-US/products/software/wwb>。

Dante

Dante Controllerは、Audinateが作成した無料ソフトウェアプログラムで、Danteを有効にしたデバイスのネットワークを構成および管理することができます。コントローラーを使って、ネットワーク接続したコンポーネント間にオーディオルートを作成し、オンラインデバイスのステータスをモニタリングします。

ダウンロードとインストール方法については、<https://www.audinate.com>にアクセスしてください。

外部コントロールシステム

SLXD4Q+は、イーサネットを介したAMXやCrestronなどの外部コントロールシステムと互換性があります。システムごとにコントローラーを1つだけ使用し、メッセージの衝突を防止します。

- 接続：イーサネット（TCP/IP、SLX-D受信機はクライアントです）
- ポート：2202

デフォルトでは、受信機はコマンド文字列をブロックします。[デバイス構成] > [デバイス設定] > [コントローラーアクセス] メニューで、サードパーティのコントロールをブロックまたは許可することができます。

コマンド文字列の包括的なリストについては、<https://www.shure.com/en-US/docs/commandstrings/SLXD>にアクセスしてください。

IPアドレス設定

コンポーネント間の通信とコントロールを確保するには、ネットワーク内の各デバイスにIPアドレスを割り当てる必要があります。有効なIPアドレスは、DHCPサーバーから自動で、または有効なIPアドレスのリストからマニュアルで割り当てることができます。Danteオーディオを使用する場合、別のDante IPアドレスも受信機に割り当てる必要があります。

標準受信機のIPアドレス指定

1. [デバイス構成] > [接続] > [ネットワーク設定] > [セットアップを開始] に移動します。
2. コントロールノブを使用して、[自動] または [手動] を選択します。[手動] を選択した場合は、IP設定を入力します。
3. [適用] を押して保存します。

Dante受信機のIPアドレス指定

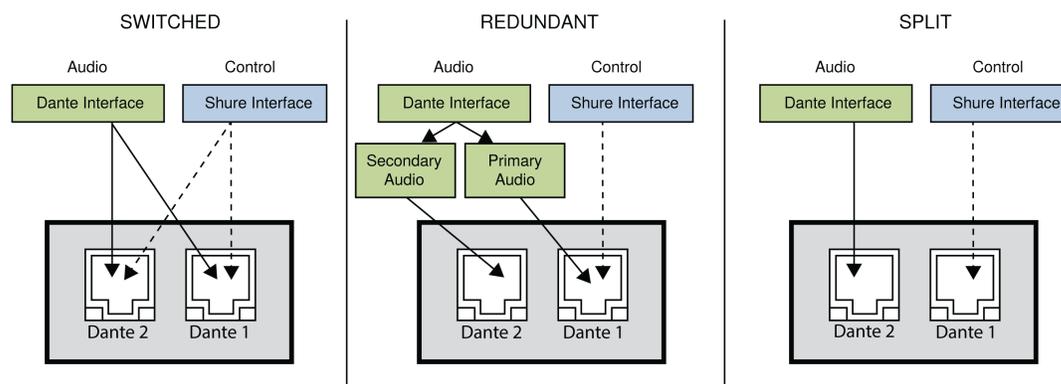
1. [デバイス構成] > [接続] > [ネットワーク設定] > [セットアップを開始] に移動します。
2. スイッチモードを選択します (**Danteスイッチモード**を参照してください)。
3. Shureコントロールネットワークモードを [自動] または [手動] に設定します。 [手動] を選択した場合は、IP設定を入力します。
4. Danteプライマリーネットワークモードを [自動] または [手動] に設定します。 [手動] を選択した場合は、IP設定を入力します。
5. [適用] を押して保存します。

Danteスイッチモード

SLXD4Q+には2つのネットワークポートがあり、ネットワーク信号の柔軟なルーティングと構成オプションを提供します。

3つの選択可能なネットワークモードが使用でき、受信機ポートからネットワークに伝達される信号をコントロールすることができます。

切り替え済みモード	<ul style="list-style-type: none"> • スターまたはダイジーチェーンネットワークの単一ネットワーク設置に通常使用します • Dante音声が必要な設置に推奨されます • Dante音声とShureコントロールは両方のネットワークポートに存在します • DanteとShureコントロールのIPアドレスは同じサブネット上にある必要があります
冗長モード	<ul style="list-style-type: none"> • Dante 1ネットワークの音声在中断された場合に備えて、Dante 2ネットワークの音声のバックアップコピーを保持します • Dante音声とShureコントロールはDante 1ネットワークポートに存在します • バックアップ音声はDante 2ネットワークポートに存在します • Dante 1とShureコントロールのIPアドレスは同じサブネット上にある必要があります
スプリットモード	<ul style="list-style-type: none"> • 2つの別のネットワークにコントロール信号を配置して音声信号から分離します • ShureコントロールはDante 1ネットワークポートに存在します • Dante音声はDante 2ネットワークポートに存在します • DanteとShureコントロールのIPアドレスは別のサブネット上にある必要があります



Danteスイッチモードの設定

Danteスイッチモードを選択して、Danteポート上のネットワーク信号ルーティングを構成します。ネットワーク上のすべての受信機を同じモードに設定します。

注: モードを変更する前に、受信機からネットワーク接続を削除します。

1. [デバイス構成] > [接続] > [ネットワーク設定] > [セットアップを開始] に移動します。
2. スイッチモードを選択します。
3. 必要に応じて、ShureコントロールとDanteネットワークモードを設定します。
4. [適用] を押して保存します。

ネットワークトラブルシューティング

- ネットワークごとにDHCPサーバーは1台だけ使用してください。
- すべての機器が同じサブネットマスクを共有しなければなりません。
- すべての受信機に同じレベルのファームウェアバージョンをインストールしてください。
- ディスプレイ上のネットワークアイコンを確認します。
 - アイコンが表示されない場合は、ケーブル接続と背面パネルのネットワークステータスLEDを確認してください。
 - ケーブルが接続されているのにLEDが点灯していない場合には、ケーブルを交換し、LEDとネットワークアイコンを再度チェックします。

ファームウェアをアップデートする方法

ファームウェアは各コンポーネントに埋め込まれたソフトウェアで、機能をコントロールします。定期的に新しいバージョンがリリースされ、機能の追加や拡張が行われます。改善された設計を反映するために、Shureアップデートユーティリティ (SUU) を使ってファームウェアの新しいバージョンをアップロードしインストールすることができます。SUUは、https://www.shure.com/ja-JP/products/software/shure_update_utilityからダウンロードします。

ファームウェアを更新するには：

注意! アップデート中はデバイスを安定したネットワークで接続を確立してください。アップデートが完了するまでデバイスの電源を切らないでください。

1. デバイスとコンピューターを同じネットワークに接続します (同じサブネット内に設定)
2. SUUアプリケーションを開きます。
3. ウィンドウ上部にあるアップデートボタンをクリックして、[Download Manager] を開きます。

注: このボタンのラベルは [Check for updates...] または [#] updates available] です。

4. Download Managerから、必要なファームウェアバージョンを選択します。
5. [ダウンロード] をクリックしてから、次に [Download Manager] を閉じます。ダウンロードされたファームウェアがリストアップされ、[Firmware] タブで表示および管理ができます。
6. [デバイスの更新] タブで、新しいファームウェアを選択し、[アップデートを送信] を押してファームウェアのアップデートを開始します。

送信機のファームウェアアップデート

1. 受信機のコントロールノブを使用して、[デバイス構成] > [詳細設定] > [送信機のファームウェア] に移動します。
2. 送信機の赤外線 (IR) ポートと受信機の赤外線 (IR) ポート位置を合わせ、[sync] ボタンを押します。

重要: アップデート中は、IRポート位置を合わせたまま固定し通信を維持する必要があります。

3. 同期が完了したら、ワイヤレスシステムを使用できます。

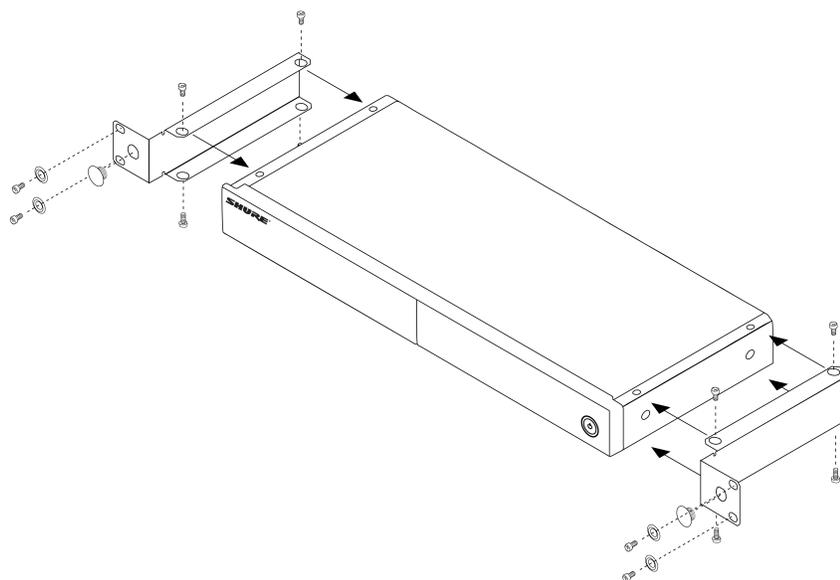
ファームウェアバージョン要件

推奨されるベストプラクティスは、すべてのデバイスのファームウェアバージョンを同一にすることです。ネットワーク上の各デバイスのファームウェアバージョンを表示するには、[デバイス構成] > [バージョン情報] に移動します。

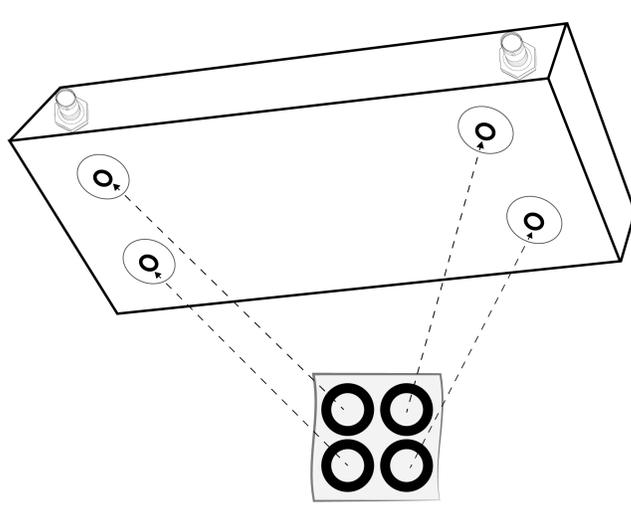
Shureデバイスファームウェアの形式はMAJOR.MINOR.PATCH.BUILDです（例：1.2.21.1）。少なくとも、同じネットワーク上のすべてのデバイスは、MAJORとMINORのファームウェアバージョン番号が同じである必要があります（例：1.2.x.x）。

受信機のラックマウント

同梱の全アクセサリ：



フットパッドの取り付け



オプションの付属品

充電電池と充電器

Shureリチウムイオン充電電池	SB903
8ベイクレードル充電器	SBC80-903-AR
	SBC80-903-AZ
	SBC80-903-BR
	SBC80-903-CN
	SBC80-903-E
	SBC80-903-IN
	SBC80-903-J
	SBC80-903-K
	SBC80-903-TW
	SBC80-903-UK
SBC80-903-US	
デュアルドッキング充電器	SBC203-AR
	SBC203-AZ
	SBC203-BR
	SBC203-CN
	SBC203-E
	SBC203-IN
	SBC203-J
	SBC203-K
	SBC203-TW
	SBC203-UK
SBC203-US	
シングル充電器	SBC10-903-AR
	SBC10-903-AZ
	SBC10-903-BR
	SBC10-903-CN

	SBC10-903-E
	SBC10-903-IN
	SBC10-903-J
	SBC10-903-K
	SBC10-903-TW
	SBC10-903-UK
	SBC10-903-US

UHF アンテナ分配システム

アンテナ/電源分配システム (470~960 MHz)	UA844+SWB
	UA844+SWB-AR
	UA844+SWB-AZ
	UA844+SWB-BR
	UA844+SWB-C
	UA844+SWB-E
	UA844+SWB-J
	UA844+SWB-K
	UA844+SWB-TW
	UA844+SWB-UK
	UA844+SWB-IN
アンテナ/電源分配システム (ケーブルなし、470~960 MHz)	UA844+SWB/LC
	UA844+SWB/LC-AR
	UA844+SWB/LC-BR
	UA844+SWB/LC-C
	UA844+SWB/LC-E
	UA844+SWB/LC-UK
広帯域アンテナ/電源分配システム (174~1,805 MHz)	UA845UWB
	UA845UWB-AR
	UA845UWB-AZ
	UA845UWB-BR
	UA845UWB-C

	UA845UWB-E
	UA845UWB-IN
	UA845UWB-J
	UA845UWB-K
	UA845UWB-TW
	UA845UWB-UK
広帯域アンテナ/電源分配システム (ケーブルなし、174~1,805 MHz)	UA845UWB/LC
	UA845UWB/LC-AR
	UA845UWB/LC-BR
	UA845UWB/LC-E
	UA845UWB/LC-UK

UABIAST

インラインパワーサプライ	UABIAST-US
	UABIAST-UK
	UABIAST-BR
	UABIAST-AR
	UABIAST-E
	UABIAST-CHN
	UABIAST-IN
	UABIAST-K
	UABIAST-J
	UABIAST-AZ
UABIAST-TW	

アンテナブースターとアンテナ

アンテナブースター (470~900 MHz)	UA834WB
アンテナブースター (902~960 MHz)	UA834XA
アクティブ指向性アンテナ (470~790 MHz)	UA874E
アクティブ指向性アンテナ (470~698 MHz)	UA874US
アクティブ指向性アンテナ (470~900 MHz)	UA874WB

アクティブ指向性アンテナ (925~952 MHz)	UA874X
パッシブ指向性アンテナ (470~952 MHz)	PA805SWB
パッシブ指向性アンテナ (650~1,100 MHz)	PA805X
パッシブ無指向性アンテナ (470~1,100 MHz)	UA860SWB
UHFパッシブアンテナスプリッタ	UA221
フロントマウントアンテナキット (ケーブル2本とバルクヘッド2個を含む)	UA600
リモートアンテナ用金具 (BNCバルクヘッドアダプター付き)	UA505
ヘリカルアンテナ、470~900 MHz	HA-8089

ケーブル、ケース、コネクタ

同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ0.6 m	UA802
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ2 m	UA806
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ7.5 m	UA825
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ15 m	UA850
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG213/Uタイプ、50オーム、長さ30 m	UA8100
イーサネットジャンパーケーブル、8インチ	C8006
イーサネットケーブル、3フィート	C803
イーサネットケーブル、10フィート	C810
イーサネットケーブル、高耐久性、25フィート	C825
イーサネットケーブル、高耐久性、50フィート	C850
イーサネットケーブル、高耐久性、100フィート	C8100

1/2波長無指向性アンテナ

470-542 MHz	UA8-470-542
500-560 MHz	UA8-500-560
518-598 MHz	UA8-518-598
554-638 MHz	UA8-554-638
596-698 MHz	UA8-596-698

670-742 MHz	UA8-670-742
690-746 MHz	UA8-690-746
694-758 MHz	UA8-694-758
710-790 MHz	UA8-710-790
740-814 MHz	UA8-740-814
750-822 MHz	UA8-750-822
774-865 MHz	UA8-774-865
900-1000 MHz	UA8-900-1000

仕様

システムRF

運用周波数帯域

470～937.5 MHz、地域により異なります（周波数範囲および送信出力一覧を参照）

到達距離

100 m（328フィート）

注：

RFチューニングステップサイズ

25 kHz、地域により異なります。

JB帯：125 kHz

イメージ抑圧比

>85 dB、標準

RF感度

10^{-5} BER時-97 dBm

システム温度

動作温度範囲

-18°C (0°F) ~ 50°C (122°F)

注：電池特性によりこの範囲は異なる場合があります。

保管温度範囲

-29°C (-20°F) ~ 74°C (165°F)

注：電池特性によりこの範囲は異なる場合があります。

システムオーディオ

レイテンシー

3.2 ms

ハイパス/ローカットフィルタ

150 Hz @ -12 db/oct

注：工場出荷時設定ではHPFがオフになっています

オーディオダイナミックレンジ

118 dB (1% THD、Aウェイト、標準)

THD (全高調波歪率)

<0.02%

システムオーディオ極性

マイクロホンのダイヤフラムへの正の圧力は、ピン2 (XLR出力のピン3に対する) と6.35 mm (¼インチ) (6.35 mm出力のリングに対する) 出力のチップ端子に正電圧を生成します。

マイクオフセットレンジ

0~21 dB (3 dBステップ)

SLXD4Q+受信機

寸法

42 x 393 x 152 mm (1.65 x 15.47 x 5.98インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

1,750 g (アンテナなし)

外装仕様

亜鉛メッキ鋼

使用電源

15 V @ 1.03 A (Danteあり)、15 V @ 0.9 A (Danteなし)

RF入力

スプリアス抑圧比

>75 dB、標準

コネクタの種類

BNC

インピーダンス

50 Ω

バイアス電圧

15 V DC、最大150 mA、アンテナ毎

オン/オフに切り替え可能

オーディオ出力**周波数特性**

20 Hz～20 kHz (+1、-2 dB)

ゲイン調整範囲

-18～+42 dB (1 dB刻み)

構成

1/4インチ (6.35 mm)	バランス (チップ=オーディオ+、リング=オーディオ-、スリーブ=グラウンド)
XLR	バランス (1=グラウンド、2=オーディオ+、3=オーディオ-)

インピーダンス

1/4インチ (6.35 mm)	1.1 kΩ (550 Ωアンバランス)
XLR (Line)	500 Ω (250 Ωアンバランス)
XLR (Mic)	150 Ω

フルスケール出力

1/4インチ (6.35 mm)	+12 dBVアンバランス、+18 dBVバランス
XLR	LINE設定= +18 dBV、MIC設定= -12 dBV

Mic/Lineスイッチ

30 dBパッド

ファンタム電源保護

1/4インチ (6.35 mm)	搭載
XLR	対応

カスケード出力**コネクタの種類**

BNC

注：同じ帯域への追加受信機1台接続用

構成

アンバランス

インピーダンス50 Ω **挿入ゲイン**

0~2 dB、標準

ネットワーク**ネットワークインターフェース**

10/100 Mbps、1 Gbps、Danteデジタルオーディオ

ネットワークアドレス容量

DHCPまたはマニュアルIPアドレス

最大ケーブル長

100 m (328フィート)

SLXD1ボディパック型送信機**電池タイプ**

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

98 x 68 x 25.5 mm (3.86 x 2.68 x 1インチ)、H x W x D

質量

89 g

外装仕様

PC/ABS

音声入力**コネクタ**

4ピン・オス型ミニコネクタ (TA4M)

構成

詳細については図を参照してください

インピーダンス1 M Ω **最大入力レベル**

8.2 dBV (2.57 Vrms、7.27 Vpp)

プリアンプ等価入力ノイズ (EIN)

-118 dBV

RF出力

アンテナタイプ

1/4波長アンテナ

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

送信出力

1 mWまたは10 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

SLXD2 ハンドヘルド型送信機

電池タイプ

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

37.1 x 176 mm (1.46 x 6.93インチ)、D x L

質量

147 g

外装仕様

アルミニウム

音声入力

構成

詳細については図を参照してください

最大入力レベル

8.2 dBV (2.57 Vrms、7.27 Vpp)

注：マイクロホンのタイプにより異なります

RF出力

アンテナタイプ

一体型シングル帯域ヘリカル

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

送信出力

1 mWまたは10 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

SLXD3プラグオン送信機

電池タイプ

リチウムイオン充電電池または1.5 V単三電池

寸法

126 × 41 × 41 mm (4.96 × 1.61 × 1.61インチ)、高さ × 幅 × 奥行

質量

200 g

外装仕様

アルミニウム、亜鉛合金、PC/ABS

Audio Input

コネクタの種類

XLR

詳細については図を参照してください

最大入力レベル

パッド -12 dB	20.5 dBV
0 dB	8.5 dBV
ブースト +12 dB	-3.5 dBV

1% THDで1 kHz

注：マイクロホンタイプにより異なります

ファンタム電源

+48 V (最大7 mA)、+12 V (最大15 mA)

RF出力

アンテナタイプ

双極子

占有帯域幅

<200 kHz

変調方式

Shure独自デジタル方式

電源

1 mW / 10 mW / 30 mW

周波数範囲および送信出力一覧を参照。地域により異なります。

Specific Absorption Rate (SAR)

< 0.17 W/kg

SB903充電電池**充電電圧**

4.2 V (±0.03 V)

充電電流

SBC10-903使用時	220 mA
SBC203使用時	625 mA (通常)、250 mA (低減) *
SLXD3	650 mA

*通常 = 10°C ~ 45°C (50°F ~ 113°F)、低減 = 0°C ~ 10°C (32°F ~ 50°F)

定格電圧

3.6 V

定格容量

1,200 mAh

外装仕様

成形ポリカーボネート

充電温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

寸法

14.5 x 32.5 x 55.5 mm (0.57 x 1.28 x 2.19インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

28 g

SBC10-903充電器**DC入力電圧範囲**

DC 5 V

充電電流

USB電源

220 mA

充電時間

50% = 3時間、100% = 5時間30分

外部電源

SBC10-USB

使用電源

5 V DC、最大1A。

動作温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

寸法

20.5 x 37.5 x 79.5 mm (0.81 x 1.48 x 3.13インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

39 g

外装仕様

成形ポリカーボネート

SBC203充電器

充電電流

625 mAまたは250 mA

別の電源を使用する場合、または0°C ~ 10°Cで動作している場合に適用される低電流時

充電時間

50% = 1時間15分、100% = 2時間30分

外部電源

SBC10-USB15WまたはSBC10-USB15WS

使用電源

5 V DC、最大3 A。

動作温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

寸法

66.3 x 86.0 x 155 mm (2.61 x 3.38 x 6.13インチ)、H x W x L

質量

284 g

外装仕様

ABS

SBC80-903充電器 (8ベイ)**充電電流**

625mA

充電時間

50%=1時間、100%=3時間

外部電源

PS60

使用電源

15V DC、4A

寸法

30 mm x 173 mm x 146 mm (1.18インチ x 6.81インチ x 5.75インチ)、高さ x 幅 x 奥行

質量

375 g (13.2オンス)

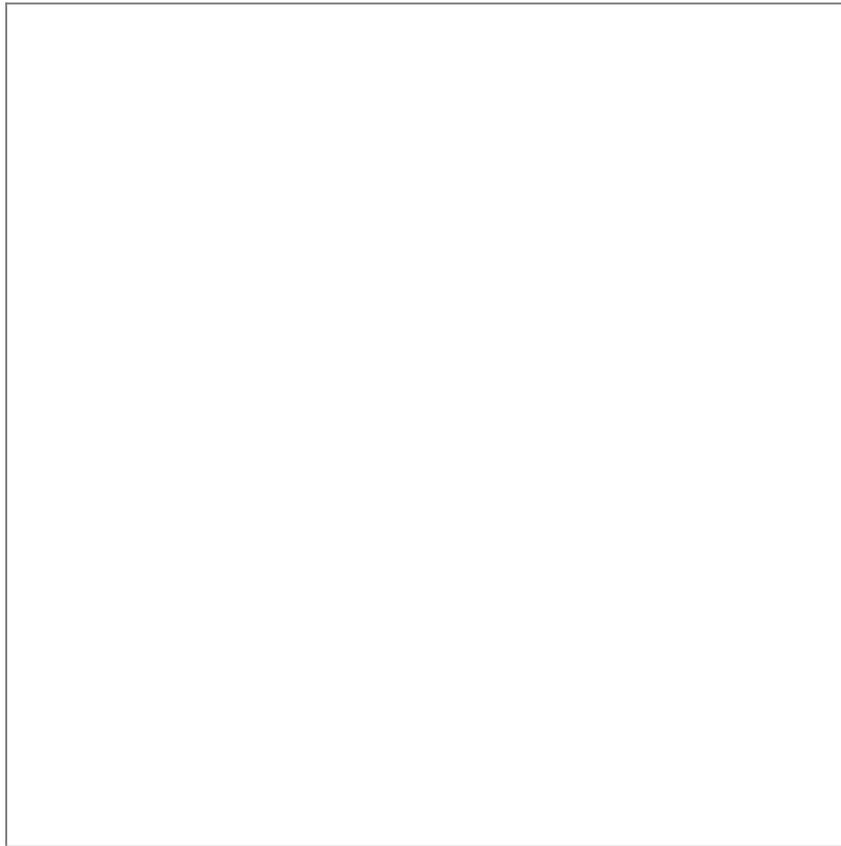
保管温度範囲

-29°C ~ 74°C (-20°F ~ 165°F)

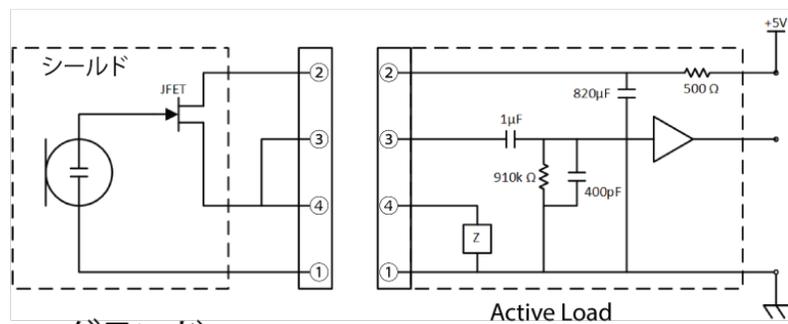
充電温度範囲

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)

受信機音声出力コネクタ

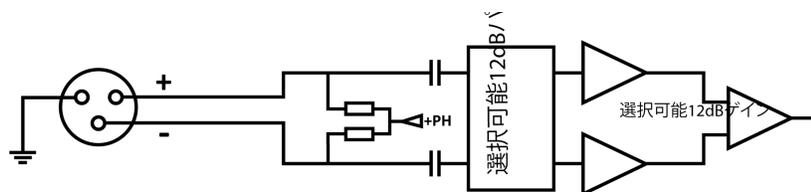


送信機音声入力コネクタ



- 1: グランド
- 2: バイアス電圧
- 3: Audio Input
- 4: Active Load

SLXD1/SLXD2



SLXD3

Frequency Range and Transmitter Output Power

Band	Frequency Range (MHz)	Power (mW RMS)* (Low/High)
G54	479 to 565	1 / 10
G57	470 to 608	1 / 10 / 30**
G60	470 to 510	1 / 10 / 30**
G64	470 to 616	1 / 10 / 30**
G65	470 to 606	1 / 10 / 30**
G66	487 to 606	1 / 10
H58	520 to 608	1 / 10 / 30**
JB	806 to 810	1 / 10
K55	606 to 694	1 / 10 / 30**
K60	614 to 703	1 / 10
L60	630 to 698	1 / 10 / 30**
M55	694 to 703, 748 to 758	1 / 10 / 30**
S50	823 to 832, 863 to 865	1 / 10
X51	925 to 937.5	1 / 10

* Power delivered to the antenna port

** SLXD3のみ

Note: Frequency bands might not be available for sale or authorized for use in all countries or regions.

欧州諸国における周波数



	Frequency Range	Country Code
SLXD-G60	470 - 510 MHz*	
SLXD-G65	470 - 606 MHz*	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, EST, F, GB, GR, H, I, IS, L, LT, NL, P, PL, S, SK, SLO, DK, FIN, M, N, HR, E, IRL, LV, RO, TR
SLXD-K55	606–694 MHz*	
SLXD-S50	823–832, 863–865 MHz *	

* This equipment may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region.

ワイヤレス製品の安全および規制情報

シンボルの説明

	警告。この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意。この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

安全のための重要な注意事項

1. この説明書をお読みください。
2. この説明書を保管しておいてください。
3. すべての警告事項に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除は乾いた布でから拭きするだけにしてください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。十分な換気ができるよう余裕を持たせ、メーカーの指示に従って設置してください。
8. 炎、ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器（アンプなど）の近くには設置しないでください。炎が出る物を製品の上に置かないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられていますので、正しく接続してください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは、2本のブレードの他に、3本目のアース端子がついています。幅の広いブレードや3本目の棒は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
10. 電源コードは特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は必ずメーカー指定のものをご利用ください。
12. カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートに装置を載せて動かす際は、転倒により怪我をしないよう注意してください。



13. 雷を伴う嵐の際や、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。
15. 水滴や水しぶきに曝さないでください。液体の入った花瓶などを装置の上に置かないでください。
16. MAINSプラグまたはアプライアンスカプラーが使用できる状態にしておいてください。
17. 装置の空気中騒音は70 dB (A) を超えません。
18. クラスI構造の装置は保護接地接続のある主電源の壁コンセントに接続してください。
19. 火災や感電の危険を避けるため、本機器は雨や湿気のある場所にさらさないでください。
20. 本製品の改造は試みないでください。けがや製品の故障の原因となる可能性があります。
21. 本製品は指定された動作温度範囲内で使用してください。
22. 製品の設置または再配置に建設作業が必要な場合には、現地の規則に従い、資格のある担当者に相談してください。製品の重量を支えられる取り付けハードウェアと設置場所を選択します。絶えず振動している場所は避けます。製品を適切に設置するために必要なツールを使用します。定期的に製品を点検してください。

警告：

- この装置内には、生命に危険な高電圧が存在します。内部には、ユーザーが整備できる部品はありません。整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。使用電圧の工場出荷時設定が変更された場合は、安全保証は適用されません。
- 水や異物がデバイス内に入ると火災や感電の原因となります。

充電器に関する製品安全情報および規制情報

1. 本機器はプロオーディオ用途の製品です。
2. この充電器はShure社の充電モジュールと指定電池パックにのみ使用してください。指定のモジュールと電池パック以外のものに使用すると、発火や爆発の危険性が高まります。
3. Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になります。

電池に関する製品安全情報

1. バッテリーパックは爆発、または有毒な物質を放出する場合があります。火災または火傷の恐れがあります。開けたり、押し潰したり、改造したり、分解したり、60°C (140°F) 以上の熱に曝したり、焼却したりしないでください。
2. メーカーの指示に従ってください。
3. Shure充電器はShure充電式バッテリーの充電のみに使用してください

警告：



電池が間違っ交換された場合、爆発する恐れがあります。同じ種類または同等の種類電池と交換してください。

電池を家庭ごとと一緒に廃棄しないでください。使用済みバッテリーパックの適切な廃棄方法については、各地域の販売店にお問い合わせください。

4. 決して口の中に電池を入れないでください。飲み込んだ場合は医師または最寄りの中毒事故管理センターまで連絡してください。
5. 電池の液体が漏れた場合、液体を皮膚や目に触れさせないでください。触れた場合は、多量の水でその部位を洗浄し、医師の診断を受けてください。
6. ショートさせないでください。火傷または火災の原因となります。
7. Shure充電式バッテリー以外のバッテリーパックを充電、または使用しないでください。
8. 電池（電池パックまたは内蔵電池）は直射日光、火などの高熱に曝さないでください。
9. 電池は、水、飲料、その他の液体に浸さないでください。
10. プラスとマイナスを逆にして電池を取り付けたり挿入したりしないでください。
11. 小さい子供の手の届かないところに保管してください。
12. 異常な電池は使用しないでください。
13. 輸送の際には電池をしっかりと梱包してください。

注：付属電源、バッテリー、またはShure認可の電源でのみ使用してください。

電池の保管

電池を8日間以上保管する場合は、温度が管理された場所に保管してください。推奨の電池保管温度は10～25°Cです。

電池保管に関する追加の情報は、[shure.com/battery-storage](https://www.shure.com/battery-storage)でご確認いただけます。



重要な製品規制情報

EMC適合性試験は同梱および推奨のケーブル使用に基づきます。別種のケーブルを使用した場合はEMC性能が低下します。

クラスB EMC製品の規制について

CEに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、CEマーキングの付いた本製品が欧州連合の要件に準拠していると判断されたことを宣言します。EUの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。<https://www.shure.com/en-EU/support/declarations-of-conformity>

UKCAに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、UKCAマーキングの付いた本製品がUKCAの要件に準拠していると判断されたことを宣言します。

UKの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。<https://www.shure.com/en-GB/support/declarations-of-conformity>

英国のサイバーセキュリティ

UK SI 2023 NO. 1007コンプライアンス宣言

製品タイプ：「2023年製品セキュリティおよび電気通信インフラストラクチャ（関連接続可能製品のセキュリティ要件）規制」で定義されている関連接続可能製品。

製造元の声明：弊社Shure Incorporatedは、製造元として、上記の製品が、記載されている該当する英国法定規則（その修正を含む）の必須要件の付則2および関連基準に準拠していることを、単独の責任で証明および宣言します。

セキュリティ問題の報告方法に関する情報：Shureの開示ポリシーの最新版は、次のリンクからご覧いただけます：<https://www.shure.com/en-GB/about-us/security>

セキュリティ更新期間：Shureは、Shure製品に不可欠なサイバーセキュリティの安全性を継続するハードウェアおよびソフトウェアのアップデートに関するサポートを、製造終了後（AEOL）最長24か月間提供します。Shureの製品サポートポリシーに関する声明の全文、および製品の製造終了状況に関する情報については、次のリンクを参照してください：<https://www.shure.com/en-GB/about-us/security>

製造元：Shure Incorporated 5800 Touhy Avenue Niles, Illinois, 60714-4608 USA、ウェブサイト：www.Shure.com。**技術文書の保管場所**：Shure Incorporated, Corporate Global Compliance Engineering Division

英国輸入業者/代理店：Shure UK Limited Unit 2, The IO Centre, Lea Road, Waltham Abbey, Essex, EN9 1AS, U.K.、電話：+44 (0)1992 - 703058、メールアドレス：EMEAsupport@shure.de

製造元を代表して：



Chad Ayers

2024年2月1日イリノイ州ナイルズ

グローバルコンプライアンス担当シニアディレクター

FCCに関する通知

本機器はテストされFCC規定パート15に従いクラスBデジタル機器に適合しますが、制限があります。これらの制限は、機器を住宅地域において使用する際、有害な電波干渉から機器を適度に保護するためのものです。本機器は電磁波を発生、使用または放射する場合があります。取扱説明書に従って設置して使用しないと、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。また、設置状況に関わらず妨害を引き起こす可能性もあります。本機器によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば（これは、機器の電源を一度切ってから入れるとわかります）、次の手段を1つまたは複数用いて電波干渉を防いでください。

- ラジオ/テレビの受信アンテナを別の方向に向けるか、別の場所に移す。
- 本機器とラジオ/テレビ受信機との距離を広げる。
- 本機器とラジオ/テレビの受信機で別の主電源の分岐回路を使用するように、それぞれを別のコンセントに接続する。
- 他の推奨事項については、Shure代理店または熟練したラジオ/TV技術者にお問い合わせください。

本装置はFCC規制第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

- 装置は有害な干渉を起こしてはならない。
- 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

注記：FCC規制では、Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になることが規定されています。

責任のある当事者、およびFCCコンプライアンスに関するその他の事項については、次にお問い合わせください：Shure Incorporated, 5800 W. Touhy Avenue, Niles, Illinois 60714-4608 U.S.A. [shure.com/contact](https://www.shure.com/contact)

カナダISEDに関する通知

注記：カナダ産業省の規制では、Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になることが規定されています。

このクラスBデジタル装置はカナダのICES-003に適合します。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ワイヤレス製品の規制情報

本機器は、未管理下の環境においてFCC規則放射線曝露制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

本機器は、未管理下の環境においてFCC規則放射線曝露制限に準拠しています。本機器は、ラジエーターと人体の間の距離が20 cm以上になるように取り付けて操作してください。

本機器は、未管理下の環境においてFCC規則放射線曝露制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

ポータブルデバイスは、米国連邦通信委員会（Federal Communications Commission）で定められた電波曝露要件を満たすように設計されています。これらの要件のSAR制限では、組織1グラムの平均値を1.6W/kgに設定しています。身体または頭部に適切に装着する際の使用における製品認証中にこの規格で報告された最高のSAR値。本機器は、ラジエーターと体/頭までの距離が0 cm以上になるように取り付けて操作してください。

カナダ産業省（IC）に関する注記

このデバイスには、Innovation, Science and Economic Development Canadaのライセンス免除RSS基準に適合しているライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 装置は干渉を起こしてはならない。
2. 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
2. L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

本機器は、未管理下の環境においてISED規則放射線曝露制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. L'utilisateur final doit suivre les instructions spécifiques pour satisfaire les normes. Cet émetteur ne doit pas être co-implanté ou fonctionner en conjonction avec toute autre antenne ou transmetteur.

本機器は、未管理下の環境においてISED規則放射線曝露制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。アンテナは、常にラジエーター（アンテナ）とすべての人が20 cm以上離れるように設置してください。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. L'utilisateur final doit suivre les instructions spécifiques pour satisfaire les normes. Cet émetteur ne doit pas être co-implanté ou fonctionner en conjonction avec toute autre antenne ou transmetteur. La ou les antennes doivent être installées de telle façon qu'une distance de séparation minimum de 20 cm soit maintenue entre le radiateur (antenne) et toute personne à tout moment.

本機器は、未管理下の環境においてISED規則放射線曝露制限に準拠しています。本機器は、ラジエーターと人体の間の距離が0 cm以上になるように取り付けて操作します。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスに対応するように、特定の操作手順に従う必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機の横に設置したり、同時に使用したりすることはできません。

ポータブルデバイスは、ISEDで定められた電波曝露要件を満たすように設計されています。これらの要件のSAR制限では、組織1グラムの平均値を1.6W/kgに設定しています。身体または頭部に適切に装着する際の使用における製品認証中にこの規格で報告された最高のSAR値。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement peut-être installé et utilisé avec une distance minimale de 0 cm entre le radiateur et votre corps. L'utilisateur final doit suivre les instructions spécifiques pour satisfaire les normes. Cet émetteur ne doit pas être co-implanté ou fonctionner en conjonction avec toute autre antenne ou transmetteur.

Le dispositif portatif est conçu pour répondre aux exigences d'exposition aux ondes radio établie par le développement énergétique DURABLE. Ces exigences un SAR limite de 1,6 W/kg en moyenne pour un gramme de tissu. La valeur SAR la plus élevée signalée en vertu de cette norme lors de la certification de produit à utiliser lorsqu'il est correctement porté sur les corps/tête.

RF曝露に関するカナダの詳細情報については、次のウェブサイトも参照してください：<http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html>

ANATELに関する注記

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL – <http://www.anatel.gov.br>.

IFETELについて

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

KCCに関する注記

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

NBTCに関する注記

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.

NCCに関する注記

この通信機器の接続と使用は、ナイジェリア通信委員会で許可されています。

NCCに関する注記

低功率射頻器材技術規範

取得審験證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

614 MHz～703 MHz：使用頻段供其他通訊業務使用時，器材應即停止使用

SRRCに関する注記

- (一) 本产品符合“微功率短距离无线电发射设备目录和技术要求”的具体条款和使用场景；
- (二) 不得擅自改变使用场景或使用条件、扩大发射频率范围、加大发射功率（包括额外加装射频功率放大器），不得擅自更改发射天线；
- (三) 不得对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰，也不得提出免受有害干扰保护；
- (四) 应当承受辐射射频能量的工业、科学及医疗（ISM）应用设备的干扰或其他合法的无线电台（站）干扰；
- (五) 如对其他合法的无线电台（站）产生有害干扰时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；
- (六) 在航空器内和依据法律法规、国家有关规定、标准划设的射电天文台、气象雷达站、卫星地球站（含测控、测距、接收、导航站）等军民用无线电台（站）、机场等的电磁环境保护区域内使用微功率设备，应当遵守电磁环境保护及相关行业主管部门的规定。

ACMAに関する注記

警告：このデバイスは、ACMAクラスライセンスの下で動作しており、動作周波数を含む当該ライセンスのあらゆる条件に適合している必要があります。

MICに関する通知

運用に際しての注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、保証書に記載の販売代理店または購入店へお問い合わせください。代理店および販売店情報は Shure 日本語ウェブサイト <http://www.shure.co.jp> でもご覧いただけます。

現品表示記号について

2.4FH1

現品表示記号は、以下のことを表しています。この無線機器は 2.4GHz 帯の電波を使用し、変調方式は「FH-SS」方式、想定与干渉距離は 10m です。2,400MHz～2,483.5MHz の全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

環境に関する規制情報

廃電気・電子機器指令 (WEEE) 指令



欧州連合 (EU) および英国では、このラベルは、家庭ごみと一緒に廃棄してはならない製品であることを示します。この製品は、回収およびリサイクルを行うために、適切な施設に預ける必要があります。

Registration, Evaluation, Authorization of Chemicals (REACH) に関する指令

REACH (Registration, Evaluation, Authorization of Chemicals) は、欧州連合 (EU) および英国 (UK) が策定した化学物質規制の枠組みです。Shure製品に含まれる0.1%重量比 (w/w) を超える濃度の高懸念物質に関する情報は、要請に応じて提供します。

リサイクルに関する情報

環境に配慮してください。電気製品および梱包材は地域のリサイクリング処理の一部であり、通常の家ごみと一緒にしてはなりません。

中国RoHS

部材名称	有害物質									
	Pb	Cd	Hg	Cr(VI)	PBB	PBDE	DBP	BBP	DIBP	DEHP
电路模块	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属模块	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
线缆及其组件	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
电源适配器*	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
锂电池组*	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。
 O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T26572 规定的限量要求以下。
 X: 表示该有害物质至少在该部件某一均质材料中的含量超出 GB/T26572 规定的限量要求。
 注 1: 本产品大部分的部件采用无害的环保材料制造, 含有有害物质的部件皆因全球技术发展水平的限制而无法实现有害物质的替代。
 注 2: 以上未列出的部分, 表明其有害物质含量均满足电器电子产品有害物质限制使用国家标准要求
 *: 表示如果包含部分

電池に関する規制情報

EUおよび英国の電池指令

欧州連合 (EU) および英国では、このラベルは、この製品の電池は個別に回収する必要があり、家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示します。



電池に含まれる物質は健康と環境に悪影響を及ぼす可能性があるため、廃棄する電池をリサイクルして、環境の品質の保護、保全、改善に貢献する必要があります。使用できる回収とリサイクルの方法の詳細については、地域の当局または販売店にお問い合わせください。

認証

規制モデル番号 (RMN)

規制上の識別を目的として、製品には規制モデル番号 (RMN) が割り当てられています。下記の通り、この規制モデル番号を製品番号と混同しないでください。

RMN : SLXD4Q+	製品番号 : SLXD4Q+ G54/SLXD4Q+ G57/SLXD4Q+ G60/SLXD4Q+ G64/SLXD4Q+ G65/ SLXD4Q+ G66/SLXD4Q+ H58/SLXD4Q+ JB/SLXD4Q+ K55/SLXD4Q+ K60/SLXD4Q+ L60/ SLXD4Q+ M55/SLXD4Q+ S50/ SLXD4Q+ X51/ SLXD4QDAN+ G54/SLXD4QDAN+ G57/ SLXD4QDAN+ G60/SLXD4QDAN+ G64/SLXD4QDAN+ G65/SLXD4QDAN+ G66/ SLXD4QDAN+ H58/SLXD4QDAN+ JB/SLXD4QDAN+ K55/SLXD4QDAN+ K60/ SLXD4QDAN+ L60/SLXD4QDAN+ M55/SLXD4QDAN+ S50/SLXD4QDAN+ X51
----------------------	---

FCC / IC ID

以下のFCC IDが含まれています : DD4SH-BLE

以下のICが含まれています : 616A-SHBLE

省エネ

外部電源は以下を満たしています :

1. 連邦行政命令集の10 CFR 430 32(w)に規定されている米国省エネ基準。
2. 2019年10月1日付 EU委員会規則 (EU) 2019/1782 : 外部電源のエコデザイン要件。
3. オーストラリア標準要件AS/NZS 4665.1:2005およびAS/NZS 4665.2:2005。

本充電器システムの適合 :

1. 連邦行政命令集の10 CFR 430 32(z)に規定されている米国省エネ基準
2. カナダNRCan基準 : CAN/CSA-C381.2